



小島友実の あの馬の STORY

シングシングシング



武藤雅騎手と厩舎で撮影した2勝目の口取り写真（撮影：11月25日）

先行力を活かし、常に一生懸命走る姿が印象的だったシンクシンクシングが2月の東京戦を最後に引退。母として牧場へ戻る事になりました。昨年11月に2勝目をマーク。キャリア19戦中、12回は掲示板といつ頑張り屋さんでした。

シンクシンクシングが伊藤大士厩舎に転厩したのは2018年の10月末。伊藤調教師がこの馬を初めて見たのは放牧先の牧場だったのです。

「あの頃は体重も減って体が寂しかつたけど、未勝利戦を勝った内容が良かつたのは知っていたので、体調が戻れば善戦できただけでいいと思っていました」

ただ、4歳となりレーベン復帰した頃はなかなか好走できませんでした。

「4歳始めの1月の中京戦と4月の福島戦の頃は、僕も含めて厩舎スタッフがこの仔の特性を理解しきれていたかったんですね。中京戦で揉まれぬいたダメな事がわかつて、福島戦では距離を延長して100メートルを切らすとあせりが思つましたが、走りの前向きさがなかった」

そこで陣営は6月の東京ダート1600メートル戦で初めて「アーリンカー」を着用します。

「結果は0.6秒差の2着。よいやぐいの馬のパターンが見えた一戦でした」

そして秋初戦である10月の東京ダート1600メートル逃げの着こなし、師はさりげ手応えを感じたと振り返ります。

「ベストは東京マイル。それも確かに充分よく走れるのが鍵だと感じました」

以降、2020年5月30日あたりは必ずしも、東京ダート1600メートル戦に出走。しかし、東京ダート1600メートル戦に着こなすすべての着こなしが堅実でした。

「レーン騎手が乗った時に距離短縮の

進路があり、昨年6月に東京のダート1400メートルを走ったんです。結果は2着で、レーン騎手は『短くなれば最後まで脚を使えて勝てる』と思つたけど、ゴール前の止まり方ばー1600メートルもー400メートルも同じでした。すみません。この馬は距離の問題ではなく、やはりかに気分良くレースできるかというかですね』と話していました。それでハナに行けば勝てるかもしないところ説めぐべー田の福島ダート1700戦へ向つたのですか……」

結果は早々に失速し15着でした。

「まだあの日の福島は暑くてね。レース後に熱中症になってしまった。正直、あの時はもう状態がひどいひどい。それがなに善戦が続してつらくなりむつ一戦といつも持て無理をさせてしまつ、本当に後悔しました。幸い、その後の処置と夏場の休養で体調は戻りましたが、あの福島戦での出来事を忘れる事はありません。今後も僕の反省点です」

順調に回復したシンクシンクシングは昨年10月末に美浦トレセンへ帰厩。そこである変化を見せました。

「前は調教へ行くのを嫌がつていたのに、昨秋に戻ってきた時は走りの前向きさがあつたのです。多少、急仕上げではあつたけど、善戦できる感じました」

待望の2勝目をマークした11月23日の東京ダート1600メートル戦の鞍上は度々コヒトを組んできた武藤雅騎手。好スタートから楽な手応えで直線に入る。そのあと押し切つての快勝でした。

「泣き声になれるほど嬉しかつたです。雅も上手く乗つてくれて、放牧先の牧場の皆さんや自厩舎のスタッフに感謝です

ね。何よりシンクシンクが頑張つてくれました。実はグリーフハートーさんの馬での厩舎初勝利だつたのですよ。感無量でした」

年が明け、2月14日に出走した東京ダート1400メートルを2着。6歳という年齢もあり、これを最後に引退となつました。

「勝つうたでは少し距離が短かたが、もしそれせん。それでも引退まで毎回一生懸命走ってくれました。おかげで多くの方々話を思い出を伺つました。

「6歳の夏頃までは毎日、調教コースに入るので20分位かかりました。途中でお座りをしたり、駄々をこねるなど(苦笑)。だから毎朝、馬房から出した時の気配を観察して、マズな時は厩舎から一番近い北馬場に行くなど、調教コースは臨機応変に対応しました。馬房から一步出るごとに変化する一方で、馬房にはつい大人しくて可愛いであります。人懐っこいね。だから僕はシンクが大好きでした」

調教へ行くのは嫌がつたのに、レースでは前に行けたのは「レースが終われば帰れるのを知つて、早く走り終えたい一心だつたのではないか。あの仔はホント不思議なやつでしたよ(苦笑)」と師は分析してみました。

「シンクを管理した事は凄く勉強になりました。子供が生まれたりせり伊藤、武藤(ツバキ)にお願ひしたのですー」

伊藤師曰く「シンクの長所はレースで毎回、前に掛けたスピード」。子供たちに

多からん事を願つてます。

(電話取材)

競馬キャスター＆ライター。現在、ラジオNIKKEI「中央競馬実況中継」に出演中。「週刊競馬ブック」や「JRA-VANスマートアプリ」にて連載を持つ。ライフワークは馬場取材で、2015年「馬場のすべて教えます(王婦の友社刊)」を出版。JRAの競馬場の他、最近は地方競馬場の馬場取材も行っている。